自民党 責任政党!!

京都市会議員団ニュース

令和5年(2023)6月18日発行　No.79

■発行人／橋村芳和　■編集委員／平山たかお　〒604-8571 京都市中京区河原町御池　TEL.075 (222) 3718～23　FAX.075 (257) 3091　https://jimin-kyoto.jp/

自民党京都市議団は市民生活にしっかりと責任を持つ!!

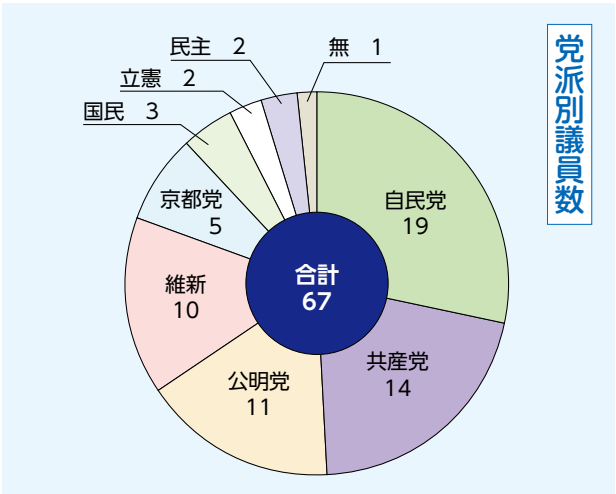
4月9日に行われた京都市会議員選挙において当選を果たした19名の同志によって、自由民主党京都市会議員団を結成しました。（声明文を参照ください）京都市会の構成は図の通り。

そして、今回の選挙で選ばれた67人の議員が、令和5年5月開会市会において議論を交わし、補正予算などの市民生活を支える重要議案などを可決しました。

なお、多くの地方議会と同様に、京都市会は会派制で運営をされています。その中で、第4党の日本維新の会、第5党の京都党、第6党の国民民主党が合同で会派を結成し、会派としては第2会派となられました。

同じ政党の中においても意見の集約が難しい場面もありますが、複数の政党が合同で会派を構成するとなると、意思決定に困難を極めることは想像に難くないと思われます。

また、現市政の運営について批判的な声も少なくない中で、私たち自由民主党京都市会議員団は、二元代表制の一翼を担う京都市会の第一党、第一会派として、市民生活にしっかりと責任を持つべく、市政のリーダーシップを取って参ります。



～ 声 明 ～

今回の京都市議会議員一般選挙において、我が自由民主党は、結成以来引き続き京都市会第一党の地位を確保した。

このことは、市民の自民党に対する実績の評価と熱い期待の表れであると厳粛に受け止め、総力を挙げて市会で活発な議論を行い、信託に応える決意である。

今般、同志が相寄り「自由民主党京都市会議員団」を結成した。

我々は、市政を支える責任ある市会最大会派として、その使命に徹し、我々が愛するまち京都を将来にわたって発展させるために、財政基盤を強化させ、少子化対策、子育て支援、市民のくらしを支えるコロナ対策・物価高騰対策、京都の強みを生かしたまちづくりに全力を挙げて取り組むべく、一層の奮闘を誓うものである。

今後とも我が自由民主党京都市会議員団に対する市民の皆様のより一層のご支持ご支援を切望する。

令和5年4月30日

自由民主党京都市会議員団

国と連携できる自民党議員団だからこそ出来た

物価高に対応するための補正予算

4月 5月　**補正予算**　総額 **140億5,400万円**

1　中小企業等物価高騰対策支援金（追加支援）

前回の中小企業等物価高騰対策支援金の交付決定を受けた事業者に追加支援金（法人3万円・個人事業者2万円）の交付を行う。あわせて、前回支援金の基準日以降に開業された事業者等についても支援を行う。

2　京都市くらし応援給付金

食費等の物価高騰の負担感が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対して、1世帯あたり3万円の現金を給付する。

3　低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援給付金

食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯を対象として、児童1人あたり5万円の給付金を支給する。

上記をはじめ市民生活を支える補正予算、条例改正などを可決。引き続き、自民党京都市会議員団は市民福祉の向上のために全力で頑張ってまいります。

なお、ご不明な点等あれば、お住まいの地域の自民党議員、自民党京都市会議員団まで、お気軽にご連絡ください。

自民党京都市会議員団 YouTubeチャンネルを開設しました！

自由民主党 京都市会議員団

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市バスの運賃改定は最後の手段

なりふり構わぬ経営改善を

コロナ後の乗客数・収支状況よく見極めて

●伏見区
橋村芳和 議員

●橋村芳和議員の質問項目●

1 門川市長４期目の総仕上げに向けた決意について
2 市バスの運賃改定について
3 上下水道事業の経営について
4 消防団の加入促進について
5 水防団の加入促進について（要望）

■橋村芳和議員（質問）市バスについては運賃改定を見込まざるを得ない状況とのことですが、交通局が掲げている「なりふり構わない経営改善」として努力の余地は残されており、お客様の回復状況を見極める必要もあります。人件費や燃料費の高騰といった課題も抱え、厳しい経営状況にある中、現時点における市バスの運賃改定の必要性に係る市長の認識を伺います。

■門川大作市長（答弁）市バスは地下鉄と収支構造が異なり、国の財政支援の効果が限定的であり、日々の運行に必要な運営費を運賃収入で賄えていない危機的な状況です。コロナ前においても、４分の１の黒字路線が４分の３の赤字路線を支える仕組みであり、運賃改定を見込まざるを得ない状況に変わりはございません。こうした中、徹底した経営改善の取組を行っており、利用状況に見合ったダイヤの見直し等で約30億円の経費を削減し、引き続き更なる取組を進めています。コロナ後のお客様の動向や収支状況を見定めつつ、引き続き運賃改定は「最後の手段」との認識の下、全庁一丸でなりふり構わずあらゆる経営改善に取り組みます。

消防団員の確保へさらなる発信強化

■橋村芳和議員（質問）地域防災の中核を担う消防団員の確保は喫緊の課題です。今年は４年ぶりに消防団総合査閲が実施されるなど、消防団活動もコロナ禍前に戻りました。少子高齢化や若者の地域活動離れ等様々な課題はありますが、今後どのように消防団員の確保と消防団員のモチベーションの向上に取り組んでいかれますか。

■坂越健一副市長（答弁）消防団活動もコロナ禍前に戻り、各行政区で消防団総合査閲が開催され、消防団員のいきいきとした力強い姿が地域の皆様に披露されました。６月には京都市消防団総合査閲を、11月には消防団フェスタを、来年１月には消防出初式をいずれも４年ぶりに開催します。これらの機会を通し、消防団の勇姿と魅力を発信するとともに、消防団員としてのやりがいと誇りを感じていただけるよう、実践的な訓練等を拡充します。また、経済団体や各種業界団体を通じた入団協力の働き掛けや全市一斉の入団促進キャンペーンの展開など、幅広い世代への入団勧奨を強力に推進してまいります。

４年ぶりの消防団総合査閲

自治会加入率向上の一助に

地域コミュニティサポートセンター

住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを

●上京区
寺田一博 議員

●寺田一博議員の質問項目●

1 地域コミュニティ活性化について
（健康寿命の延伸について）
2 森林政策と脱炭素先行地域の取組について
3 子育て支援策について
（各施設への支援と公園を子育て拠点にする考え方）

■寺田一博議員（質問）平成20年２月市会の代表質疑で、自治会の加入率向上が地域にとって大切であると条例制定の必要性を提言し、平成23年９月市会で条例が提案され可決。施行後10年以上経ちましたが、この間新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの地域行事が中止となり、担い手の高齢化等課題は少なくありません。地域コミュニティサポートセンターを設置し、年間約600件の相談に対応されています。上限10万円の助成や、スマホ講座や自治会館wi-fi整備助成などさまざまな支援につながっている事例も少なくありません。各種団体や、町内会、自治会などのサポート体制の強化や広報が、今こそ必要であると思います。

■門川大作市長（答弁）「人口減少対策推進タスクフォース」を立ち上げ、全庁を挙げて推進し、地域の絆を深め、皆が愛着を持ち、「京都に住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを地域の皆さまとともに進めてまいります。

インクルーシブ遊具（市内5か所）仁和公園

森林こそエネルギー政策 新たな森林整備の仕組を

■寺田一博議員（質問）本市の面積の約４分の３が森林であることから、かねてより森林政策の成功が本市の発展につながると提言してきました。木の文化・森林政策監のポストが新設され、以前とは比較にならない多くの施策がはじまっています。ヨーロッパでは、森林政策がエネルギー政策でもあり、市民の皆さまも森林政策に高い関心をお持ちです。

■門川大作市長（答弁）森づくりの助言、誘導を行う京都市版フォレスターの育成や人工林を天然林に転換する新たな森林整備の仕組みづくりなど全国のモデルとなる森林政策を進めてまいります。

保育の質の向上へ制度の早期検証を

■寺田一博議員（質問）京都市は国基準以上の施策が少なくなく、保育環境の充実が図られ、民間保育園等への人件費補助に係る制度が改正されました。新制度で１年間を通して、現場の実態を早急に検証する必要があると思います。その上で、修正が必要な部分は年度途中であっても見直しをお願いします。

■門川大作市長（答弁）各園や関係団体から、修繕等の備えに対する不安や１歳児加配の更なる充実に対する要望等のお声も頂いています。各園の実態等を検証して、保育の質の向上に向け、各園がより利用しやすい制度となるよう、事務費等にご利用いただける補助等、必要に応じて柔軟に対応してまいります。

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

【代表質問】5月開会市会（5月26日）

新・都市計画で職と住、近接

暮らしやすさと経済好循環

高さ規制緩和で住みやすく／民間建造にも市内企業を

●南区
しまもと京司 議員

■しまもと京司議員（質問）市民の働く場所の創出と企業立地のインセンティブ施策や全市挙げてのトップセールス、ビジネス拠点創出に向けた「京都サウスベクトル」プロジェクト等の継続努力とともに、何より若者世帯等の市外流出や地価高騰による家賃等の抑制と市内への移住促進等における創造的都市政策の具体的な取組は？ そして高層化等も予想される民間建造物や設備もできる限り市内地域企業が受注できる促進策を。

今春京都に移転した新・文化庁

■門川大作市長（答弁）若者・子育て世帯を呼び込む洛西SAIKOプロジェクトや、手が届きやすい既存住宅の流通・活用促進、市営住宅を民間にて改修し貸し出す全国初の取組に着手します。都市計画の見直しに伴う開発でも、できる限り市内事業者への発注を呼び掛け、周知啓発や理解促進を図ってまいります。

文化庁移転の大きな目的 文化・芸術で経済活性 市民の目に見える結果を

■しまもと京司議員（質問）東京一極集中の打破と地方創生のための「省庁の移転」は日本のためになるということを、まず先陣の京都がしっかりと立証せねばならない。いかなる施策展開でこの責任を全うしていくか。そしてこれまでの文化・芸術の「保守保存」のためにも、これからは「産業化と経済活性」で人・仕事・モノ・そして「現象」の好循環が必要。新文化庁・京都のスタートにて考えは。

■門川大作市長（答弁）文化芸術が人・モノ・コトを惹きつける観光や経済を発展させ、全庁横断的な「文化庁連携推進チーム」を新たに設置して、京都のポテンシャルで地方創生を推進。全国のモデルとなる成果を実現・発信し、「文化首都」の責務を果たします。

西大路駅南側のバリアフリー化と新南区庁舎・塔南高跡地

■しまもと京司議員（質問）JR西大路駅バリアフリー化目標の半ばであった北側新駅舎が整備され、いよいよ本来目的の南側旧駅舎や新駅前ロータリー等の構想・調査・検討に入るべきと考えますが市の見解を。継続要望している区役所庁舎新整備と塔南高校跡地の文化的活用も引き続き着実な検討を願います。

■坂越健一副市長（答弁）当該駅舎は新幹線の高架が駅を跨ぐ構造的制約がありますが、乗降客の流動状況を踏まえながら、南側のバリアフリー化も駅前整備検討推進とともに、関係機関としっかり連携し取り組んでまいります。

●しまもと京司議員の質問項目●

1 文化庁京都移転での真の目的と市民効果のための取組について
2 新・都市計画で「住みやすさ」実効的推進と、市内経済循環について
3 市内公共的「物流」業の社会的重要性と難局課題への取組について
4 デジタル庁クラウド移行事業と標準化やチャットGPT等の考えについて
5 ＪＲ西大路駅・北口完成を受け、次期・南側のバリアフリー化等について
6 南区役所新庁舎の着実整備と塔南高校跡地の文化的活用について（要望）

西村議長挨拶

第86代京都市会議長 西村 義直

この度、令和5年定例会5月開会市会におきまして、歴史と伝統のある京都市会の第86代議長に就任させていただくこととなりました。

円滑な議会運営を心掛けるとともに、コロナ禍や原油価格・物価高騰によって、一層厳しい状況に置かれている市民の皆様のいのちと暮らしをしっかりと守り抜き、ウィズコロナ社会において、社会経済活動を回復していくため、議長として全力で取り組みます。また、二元代表制の一翼を担う京都市会として、一人一人の議員が、市民の皆様の負託に応えられるよう、行政に対する監視機能や政策提案・立案機能など、議会の権能をより一層発揮し、同時に、市民にとって一番身近な議会であるように努めます。市民目線で分かりやすく丁寧に情報発信し、「見える市会」「伝わる市会」の更なる実現に向けて、もとより微力ではありますが、地方自治の伸展と魅力あふれる議会づくりに専心努力する所存でございます。

市政のリーダーシップ　自民党市会議員団

■議　長　西村　義直
■監査委員　山本　恵一
■関西広域連合議会議員　椋田　隆知
■京都府後期高齢者医療広域連合議会議員　下村　あきら
■人権擁護委員　平山　たかお・谷口　みゆき
■都市計画審議会委員　椋田　隆知・みちはた　弘之　田中　たかのり・井上　よしひろ
■団　長　橋村　芳和
■副団長　田中　たかのり
■政策委員長　森田　守

■自民党議員団の所属委員会

	常任委員会					市会運営委員会	特別委員会		
	総務消防	環境福祉	文教はぐくみ	まちづくり	産業交通水道		予算　決算		
委員長	田中たかのり				森田　守	寺田　一博	みちはた弘之		
副委員長		さくらい泰広	椋田　隆知	井上よしひろ			①平山たかお	②	③しまもと京司
自民党	橋村　芳和	津田　大三	富　きくお	繁　隆夫	山本　恵一	寺田　一博	橋村　芳和	富　きくお	山本　恵一
	下村あきら	西村　義直	寺田　一博	しまもと京司	田中　明秀	田中　明秀	津田　大三	繁　隆夫	田中　明秀
	田中たかのり	さくらい泰広	椋田　隆知	井上よしひろ	森田　守	しまもと京司	西村　義直	寺田　一博	しまもと京司
	平山たかお	みちはた弘之	谷口みゆき		山本しゅうじ	みちはた弘之	下村あきら	椋田　隆知	森田　守
						井上よしひろ	さくらい泰広	みちはた弘之	井上よしひろ
							田中たかのり	谷口みゆき	山本しゅうじ
							平山たかお		

※市会運営委員会の寺田一博、田中明秀は理事
※予算決算特別委員会の副委員長欄の○内数字は文科会

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

今任期にかける思い

自由民主党京都市会議員団に聞きました

またきち
（京都市会マスコットキャラクター）

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい

北区 山本 恵一

今、そして将来の市民生活を守り抜くことが最大の責務。より一層安心して子育てができ、温もり・活力溢れる北区・京都市のため、「郷土の力になりたい！」の精神で全身全霊、務めていきます。

上京区 寺田 一博

言うだけでなく市民福祉向上につながる政策を実現できたのは皆さまのご支援があったからです。今任期も今まで以上に「政策実現力」を発揮して見える仕事を増やせる様尽力してまいります。

中京区 津田 大三

22年振りの収支均衡、コロナの終息、物価高騰など、今が一番厳しく大きな転換期。「チープな改革」ではなく、京都経済を下支えし、賃金の上昇や、将来に夢が持てる「真の改革」を目指します。

山科区 富 きくお

直面する深刻な少子化。政府も子ども家庭庁が少子化対策を本格始動！京都市も子育て世代の流出が進行し、今後、子育て支援強化と若年層流出対策は喫緊の課題。その解決に向け全力で取り組む。

下京区 下村あきら

若者・子育て世代の移住・定住の促進、学習塾や習い事等の学校外での教育サービスの創設や身近な公園への健康遊具の設置等、地域の魅力を高め、幅広い世代の人が生き々と暮らせるまちづくりに努力。

南区 しまもと京司

議員活動15年の節目を3年後に控え、一貫して取り組んできた京都経済の活性化や中小企業支援と都市計画・機能・基盤インフラ等の更なる進化による市民生活と福祉の向上に全力投球！

右京区 田中たかのり

多様な市民ニーズへの対応が求められている今、あらゆる資源を有効活用し、「声をかたちに」実感頂ける政治を目指します。そのためにも、「正しい情報」をみなさんと共有して参ります。

右京区 井上よしひろ

防災・減災対策や子育て環境の充実など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、歴史と文化のまち「京都」を将来にわたって発展させるようしっかり取り組みます。

西京区 田中 明秀

前任期後半2年間議長を務めさせていただき、その間文化庁も移転しました。京都人の矜持をもって日本文化の継承・発展・発信と京都市内の均衡ある発展に全力で取り組んでまいります。

伏見区 橋村 芳和

ときは今、改革から創成へ！7期28年の経験を活かしながらも、過去の延長線上ではない挑戦の気概で！伏見区の発展なくして京都市の躍進なし！企業立地促進で活力を！

伏見区 繁 隆夫

人口流出は喫緊の課題。安心して子育てできる環境整備や住みやすいまちづくりなど若い世代の移住、定住に結び付く地域企業の雇用機会創出、活力のあるまちづくりに取り組みます。

北区 谷口みゆき

未来ある子どもたちを育む教育環境整備、誰もが健康で長生きできる福祉と生涯学習の充実、防災・減災対策を強化し安心安全な笑顔あふれる北区・京都市のまちづくりを推進して参ります。

左京区 さくらい泰広

市民の皆さんお一人お一人のお声を大切に、その想いや願いが反映される市政の実現。大切なお子さんをど真ん中に、お父さん、お母さんが安心して子育てできる環境の充実を目指します。

東山区 平山たかお

京都市財政を立て直すため、徹底的にあらゆる議論・提案をする所存。「所得の向上こそ福祉の充実」に繋がるとの確信の下、積極的な財政出動を伴う施策を構築し、新しい未来を創る。

山科区 山本しゅうじ

貴重な議席の重みと責任を胸に刻み、皆さまからの信託に応えるべく、誠実な活動に努めます。地域の声を京都市政に届け、さらに誇りを持って暮らせるまちづくりに力を尽くして参ります。

南区 椋田 隆知

あらゆる世代が、安らかに住み続けられる施策の更なる充実を目指し、ハッキリ発言！しっかり仕事！をモットーに、元気で優しいひとづくり・まちづくりに全力投球で働いて参ります。

右京区 森田 守

京都市は、行財政改革により財政難克服の道筋をつけることができました。今後、日本にとって最大の課題である「少子化・人口減少」の流れを大きく変えるため努力してまいります。

西京区 西村 義直

厳しい社会経済状況が見込まれる中ですが、安心安全を最優先に市民生活が停滞する事の無いよう全ての市民から寄せられる負託に応えられるよう引き続き努めていきたいと存じます。

伏見区 みちはた弘之

「子宝社会の推進」「豊かな長寿社会の保障」「地元の魅力の拡大」「安心安全社会の向上」に向けて、行財政改革を推進し、住み、働き、産み、学びたいを思える街づくりに邁進します。

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。